

令和元年6月現在の豚コレラとアフリカ豚コレラ情勢

- ◆ 6月、新たに岐阜県で2例、愛知県で1例の発生が確認され、野生いのししの陽性事例も続いています。
- ◆ アフリカ豚コレラも香港、北朝鮮、ラオスと発生地域がさらに拡大し、国内侵入が懸念されます。
- ◆ **情勢の把握と早期発見、早期通報に努めてください。**

日本での豚コレラ発生経過

- 岐阜県の養豚農場で発生 (9/9)
- 岐阜県で死亡イノシシ初の陽性事例 (9/14)
- 愛知県で捕獲イノシシで陽性事例 (12/19)
- 愛知県の養豚農場で発生 (2/6)
- この農場から別の愛知県の農場、長野県、岐阜県、滋賀県、大阪府の農場へ豚の移動に伴い発生以降愛知県、岐阜県で継続的に発生
- 6/23に岐阜県の養豚場にて国内27例目の発生があり、現在防疫対応中

3月下旬から岐阜県、愛知県で野生いのしし用の経口ワクチンの設置が1年間を目処に開始されています



6/23現在の発生状況

- 54農場、3施設 (関連農場施設含む)
- 死亡・捕獲いのししの陽性頭数674頭 (内訳：岐阜県645頭、愛知県29頭)



中国アフリカ豚コレラ情勢

- 22省、5自治区、4市
- 168か所 (H30.8.3～)
- モンゴルの発生状況 11か所 (H31.1.9～)
- ベトナムの発生状況 2411か所 (H31.2.1～)
- カンボジアの発生状況 7か所 (H31.3.22～)
- 香港の発生状況 2か所 (R1.5.2～)
- 北朝鮮の発生状況 1か所 (R1.5.23～)
- ラオスの発生状況 7か所 (R1.6.2～)